武蔵國旧跡考　巻五

浅草
山谷
下谷
千住
西日
沼田

荒川戸
山谷
根岸
三囲
隅田
千住
金杉
橋戸
今戸
浅草
入谷
根岸
戸
西新井

地図

内閣文庫
和書
類 一一三三七 號
冊 六
函 一七四
架 四

内閣文庫
番號 和 11337
冊數 6 (5)
函號 174 12

糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
裏面記載のない箇所は省略

国立公文書館
National Archives of Japan

○海草　海草郡ハ紀伊国の海草郡ハ海草郡ハ海草郡ハ

櫻森神社の図　大宮市より西の方

早稲田の遺跡　同社の西方にあり　神代曽根氏今近所の住なり

宮戸村の神社　同社の西方にあり

飯綱権現　同社の西方にあり

鎌倉岡　草の谷と云

花川戸

雙燕　自相求

花川戸結戸

右南部里数八首

迷行　心の宿　花川戸の北の四辺

富士浅間の祠　同社の西方にあり

蛇塚　同社の西方にあり

神明社　同社の西方にあり

板橋　本願寺の西方にあり

中田圃　同所にあり　花の名所

医学院　同所にあり

馬道　浅草寺境内の東の方にあり　矢大臣

須賀神社　本願寺の前にあり

浅草寺　新吉原の東にあり

浅草寺観音　新吉原の東にあり

浅草寺子育観音　新吉原の東にあり

浅草寺子育観音　新吉原の東にあり

浅草寺子育

[illegible]

○櫻田林神社 大会寺よりの御屋の手堂[illegible]

同社

○宮戸天神社 [illegible]

○鎌倉郡 [illegible]

○[illegible]

花川戸 [illegible]

古南郭里堂水八首

○[illegible]

○宮戸[illegible]

○蛇塚 [illegible]

○神明社 [illegible]

○[illegible]

○中田圃 [illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[

○大師堂御前項墓

[illegible]

○弘法寺　月光の俗なる寺門の合山図南寺のあり　後学あれば話不乃
柳稲荷社　つかの[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　

○白蓮山正覚寺　いにしへより豊前の国の内にあり　宗旨と嚴誉禅師と云キ人
寺に器量ありしの国司の頃ありしまつ一宇の堂宇と聞き
神武　行基菩薩の造営　釋迦像と彫刻し奉る寺なりと云
三年　百二十日　大将軍　白蓮寺　如円　四天王　教育寺の初書寺立
ひ器量の後　苟し白蓮山の内に祈願し　今日新刻の
行法の祈願　明神　如来　如来　毎日　毎日　お参い
行法の祈願　明神　如来　如来　毎日　毎日　お参い
行法の　五千体　宇佐　八幡　天長　九年　豊後の国
池中　弥勒　天神　行法　天長　九年　豊後の国
いろ　弁天　百社　の　個　ゆ

○宇東里　今上　宇佐郡の北　宇佐の西　と　宇佐　北　と　いわれて　浄土　天王　の　ゆ　天王　の　ゆ　天王　の　ゆ　天王　の　ゆ

○作て　津留　ゆ　留　ゆ　ゆ　ゆ

○賀茂明神記　下行前国長寺の辛鬱い長い寺しいる日蓮宗寺尼
寺こ所　上野の北軍そうこ　神奥大井と云ひ　行方郡の神は
北に高い長柄郡賀茂郡村長中い神鳥い寺より神奥七〜より
四郷上人　一千次の四方寺北軍　男と所念〜　五と國豆あり　七頭〜あり
ち寄とうつ〜しとめりしとなるし　（所い日敬上人　寺号の頃い寺見）

○朝日い来臨寺　願成院とゆ　下ろ寺あるより　浄土宗　（家の名）　頭蓮　（又号善言上人　未心礼百学文者）
宗祖たり　平そる行法　蓮華寺　千三観五日　天三所作　（隆尼の弟子ろ　百衡の教授ある）
寺ろ　ろ　蓮寺　大正寺四　下　岩三長ろ　隆尼　寺の剣　天長ろ　ある　より　と
天和の頃　今　ゆ　ようつ　と　て　明応丙申寺　下　浦　肥前屋の母　浦　来臨院
殿　真　寺　ゆ　ろ　の　傾　蓮　寺　ゆ　より　（ゆ　ゆ　ゆ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

佐野新田

中川ノキシニ神編荷ト云フ江アリ神多メク流シ[illegible]

[illegible]ヨリ古ハ荒原アシハラ[illegible]地沼ホリトカヌ本村ヨリ[illegible]

人スクナリ又ハ古沼ノホリハステヲキシヲ化ラノコロ[illegible]

[illegible]ニ[illegible]カシコミトヒマアルナリ此ヒヤリ[illegible]トメサシノ高伯モナリノ五テ廣ハ大サリ

百六ハナ年ヨリ三百年以前ハ川々ノ形流チ殷ニテカシカキリモナキ茅草沼地殷ヲ[illegible]ニテ

名ツクヘキ字名タニナカリシ故ニ何ヲモ何ヘイヲ以テ村名トス

中川ト経願川ヨコタハリヲ古隅田川ト云アリ今埋リテ川中僧ニ同余昔時ハ

中川ト繋リニテリテ荒川ヘ流シ合テ海ニ入シモノニ土人云伊ハ古隅田川ノホニヒヲ

アル前原村ハ古ノ駅ニテ今モ宿ト云地名アコレリ掘ニ在五ノ名ニテ[illegible]此ヒ

ナルニヤ今隅田川ト称セル地ハ二百四五十年前ハ海ニメ川ノアルヘキヤウナシ然シハ

土人云古隅田川實称ナルヘシ

竹塚村名主久藏ト云ル家ヨリ蛇ノ蛻出ル故ホノ先祖百姓[illegible]ニテマカシ

サレシテイタムヤシキウチニスミナカラニクキマムシナリヨシ々地ヲウカ[illegible]ヨカ

テモコトクリ手数シテ恨ヲハラスヘシト怨リ[illegible]

イロロノ草ヲクワヘホリテ庭ニキノ上ニナラスヨキテカヘル夜明主人是ヲ[illegible]

ムシノ殺サントスルニコトハリノメメニクハヘキメイリシニヤアラントテ其草ヲトリテ病口エ

ヌリツケシカハ忽イタミヤハラキ平癒スヨリヤクトス用テコウマリ

経願川ホトリ三ヶ所ヤサシキ名ナシハ古哥ノ十トモアルヘシト里人ヲ[illegible]ニ

シラスサテ此辺ノ土地ハ大上ノ国ト思ハレ荒川近ヨリモスクレシヤウニ見エ

ワメナトモツクリ空地サラニナシ経願川ヲ越テハ田ニ[illegible]七分個ニ分ル[illegible]ノ村

ニモ貢ナ不ナシ中川ト経願川ノ間凡一里中ヨリ下総ノ国界ニテ武ハ

一リ半或ハ一里七丁半ナリ[illegible]ナリ

猿ヶ江村古利根川ノ流北方ヨメクリテ水ヨトムル三ヲ水難多シ宝永年洪水ニ此地ノツミ切ル[illegible]テ西

[illegible]四年六月迄大水ナリ其年公儀ヨリ[illegible]東ノ故ニ[illegible]

以テ下総国府臺ヨリ[illegible]利根川ヲ舟マハシニテ今ノ堤ヲナシ下サレシ事ナリ

今の形ノコトリ地面ノ一定セシハ享保初年ヨリ

経済ニ安シキ井戸ヲ掘テ地形ヲ定テナ

利根川ノ水ヲ中川一筋シ古川ヲ埋ニメモ水ヲ以テ西方西ノ用水トス

舟ノ上ル流ハ便利ナヤウニハカリシモノナリ

[illegible]

[illegible]

十三天王　[illegible]

[illegible]

[illegible]

善福寺　[illegible]

善福寺[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

○多賀神社　浅草田原の南堀田原の産土の中へ鎮座　白山石尊宮ともいふ
後鳥羽の宮殿なりと伝へ　[illegible]
[illegible]

○西福寺　北谷にあり　日蓮宗
元三大師　日蓮上人　[illegible]

○稲荷神社　尚武山正覚院と号す　[illegible]
[illegible]

○[illegible]　[illegible]

○[illegible]　[illegible]

○[illegible]　

ぜと領ー

・千束村　千束い郷のなまりと見えて法華寺倶舎寺四寺の内なる法華寺

郡司まで金剛山法華寺とあり　光明寺分限帳に法華寺千束の内だけ

ケ三ヶ名五石四斗　千束屋敷内　金行名　飯倉淳左衛門　千束内

四ヶ名五石　鴻巣分　領ぜり　又千束村　法華寺分限帳に千束の内だけ

記見れい　法華寺　今千束と称ぜり　なるべし

下石郡　泉寺の田のことなり

・金行村　光明寺限帳に五石　天明元年　郡司　中ゆ千束内　金行名称ぜり

郡司　ぜと領ぜりとあり

・沼田　上下に分る　光明寺分限帳に下五石　沼田村　世五郎名　ぜのひい子

寺領の所領のよし　社寺　又東郡

嘉祿二年丙戌四月　立日　甲辰　霜戌刻　御所中騒動　武蔵國御家人　沼田

四郎　父子白井太郎　父子白井　新開論　互殺害　畢　郡有宿意　沼田

又六の法師　弟沼田　保親　沼田左衛門　とりこ　ぜ　ぜ

・津草馬場　観音堂の後の通り　郡の北の方　馬場小路　十三軒

・神原馬場　新馬場の北　今小路の通　馬場小路　十三軒

中正り　宇ケ　寛政元年　新町

・新町　大音寺　茶屋　正宗院　正宗院別当

・東光山新泉寺　寺院　直言宗　護国寺に属す　日本

新泉寺村　新泉寺　昔小新宿　皆出

領ぜりしとの

・御留場　陸場の自年の所　の

・大舎寺　宗旨の所　門の外三町　北の方

・垣の内　津草馬場　の北の面　西の

昔寺　大仏　下

・この原　千住大橋の北　と　津草門の

正覚山大音寺　竜泉寺　寺　浄土宗　宗山

帰山は六世頓蓮社本林誉上人歴天大和尚

津草刹堂 日蓮宗鳥取より之を同堂の初めとする中陸とし

大阪 坂本の通り四丁目の北側 東側より三番目の北

四丁目の西側 初代より此方に住職なし

津草門跡 東本願寺表門の西隣と賣買相成し

橋戸 千住大橋の北詰にて掃部宿と称し本宿より四丁目に当る

真宗西本願寺 宗門 日蓮より二番目

遠雲山正法寺 三條町より長堀通り天台宗にて東寺に属す

本尊は

小野山観聖院 宗門 四月の初め裏通より天台宗東寺に属す

本尊は 元亡

参光山永久寺 は 丁 創より天台宗北嶺に属す

不動尊

鐵砲山世尊寺 金龍 より真言宗天王寺派に属す 寺領なし

所司代山観音寺 村より 本尊は千手大悲観音八寸

の作なり 元和の頃より本尊は霊験あらたかにて其頃の名僧

像と宝物あり 其中に

年頃通説ニ正作之年号四月之賀于尾州ニ流し見物ニ出ストヤリ
しかるに流れる中ヤリるとろ三年よりはしやよりの作成とそして
宮原と聞く　新川郡宮原村
のその之ろろ　大絵堂のそのの浄土
わろて当寺の優婆塞たるとろ
元亨元年八月の年号の宝塔寺の門額
中院わろしそのの村の大絵堂と
下り本　新川郡の中大絵堂と
当院　元亨元年大絵堂のの之ろ
年号ろしてろる中わろとて

常宝山金蓮寺　本堂村まろ浄土宗

開山

太田道隆の二男太田竹内守光尚寺と再興せり古き位牌墨書
千代　地蔵の命ようて江戸表千寿ようて行く
手ろたる千寿ようて
北沢ろたるとろ
五千ろ江戸ろ二百
首除　信長寺後の紀中ろ
時の首除ろいろ

新川郡今戸信の北のほの通り信ろ

則稀多の業市ろの中ろ皮類と創良す大敷又ハ雪花等と
製ろる出ろ
皇信院　は場の中ろ
薄原の過ぎハ摂州田の
ろ死すきの
よハ年ろたり　天正十八年
よ如ろ人欲の中ろ
寄のよりとろ
芸業筆墨陀羅　一幅　行ろ日蓮
の所記墨書と
ろる筆と
行って
判　常ろ市ろ
ろ字ろ市判

日蓮ろ人真筆ろ墨記一軸
世界ろ流れ
上人ろ
先祖ろ
いたろ
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

山王祠　千仭大橋の事所道より右の方に見る事川流るゝ事
山谷の福茅院別当なり
玄量山福茅院　橋場通りより曹洞の禅宇にして日本總泉寺
屬す開山は叡州悅岩和尚或云肅州悅嚴と作る　本寺は　觀音
尚寺の撞鐘は天明八年戊申五月造鑄する東江原舞勾之を書
白龍弁才天は当寺の境内に祀る
慈眼山東禪寺　新鳥越より曹洞禅宇にして開基元禄の頃
開山は哲列久善大和尚　開基は格列遠和尚なり
洞雲山龍藏　門内より北方正元寺立する所なり江戸六地蔵の一なり
靈亀山安昌寺　今戸　洞雲寺末寺　開山は列格大和尚
開基は出山
本尊は出山釋迦なり　慈覺大師作百観音なり
宗門は禅門　日本曹洞禅門　新鳥越　禅刹にして品川天竜寺に屬す　開山は巖良大和尚
千住山理昌院　本寺は　尺寺　開基は格列　開山は巖良和尚
聖金山　或は聖寺　蓮華院　浄土宗　尚寺に屬す　開山は貞蓮社
行誉上人　起蓮社輪誉宗鄙　姓は大田　房州人　天和元年陸奥国
天和元年寂年五十三
安穏山極楽寺　浄土院と号す　浄土宗　開山は徳川家
本寺
日吳山瑞泉寺　新鳥越二丁目　浄土宗　開山は月海上人
開基は慈覺和尚なり
三面地蔵菩薩は行基菩薩の作なり　二尺八寸なり　像は三面五智地蔵
尊は行基菩薩の霊夢を感じ一刀三礼して彫刻なりしなり　豆州
よりて利益と輝くなり　寛文の事の後設なりて尚寺なる後なり
護念山道林寺　山谷　浄土宗　開山は正貞院と号す　寛永之
年丙寅起之　開山は西蓮社安誉説道和尚　上野人　慶長
四月　日寂　尚寺は馬喰町にあり　法華門なり　日蓮宗

鳥越山源徳院（後号寺しるす）　新長谷寺

より浄宗寺に属す寺院なり

天慶年間起立なる中興宗山は正蓮社宗参学院なりとす　尚写

作者は之自筆のなりと正保年間宗山より移さるとの

宿為社　市天社　中略作者の金剛　比叡山

月照山　浪伯寺　浄宗源山に属す　浪宗山定蓮社心言湖

新和尚なる天文年間建立

塔雲山光照院　三尊寺とも云ふ

より宗山は貴者と人なるは

弘新雲山大乗方　威源院とも云ふ

年号創るより浄宗に属す

宗山は三蓮社宝誉林新和尚当寺は昔その大伽藍より寛文の頃今の

ありさまなるなり

事迎山仰願寺　法華院とも云ふ　（仰願寺）

より浄宗に属す（金義）

なる

宗山は仰願寺と云ふ

圓心山日慶寺　小塚寺　より日蓮宗にして宗旨は四宗院

日相尼なる宗の寺

誠高山正法寺　新長谷寺　より日蓮宗にして宗旨は日蓮宗

より慶長年間起立なるなり　長谷寺　丹波山は心新院日長

法立山常福寺　日本　日宗　日宗　日宗

尼寺　泉涌寺　法花院　大正天は行基なり

動光山四常寺　日本　日宗　日宗

より日蓮宗の寺なり

千華山妙蓮寺　新長谷　より日蓮宗の寺なり　宗山

より日蓮宗の寺なり　千華の末寺　千華安盛寺無

宿為山勝林院　浄長寺　より浄宗に属す　千代倉　鎌倉

宗山は勝蓮社円誉不説上人　浄宗備前守宗長なり　勝林院殿開基

宗山は勝蓮社円誉不説上人　浄宗備前守宗長なり　長大禅定門と

なり　尚寺は草庵なり　宗創の年歴は

なり　今は堂の　慶長十五年

庚申三月　浄長寺と改む　慶長十五年

宗長と号す　尚草庵なり　三月十日の夜　宗山上人記

宗長寺　小塚寺より　本国寺の下なり　江戸中と縁の元者と

天文十年丁巳五月　浄長の

[illegible]と言ひ[illegible]と[illegible]ひ[illegible]て大徳[illegible]泉今[illegible]
富士浅間神　浅草寺の後北の方[illegible]別当[illegible]
[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
白鬚大明神　浅草大象寺中の[illegible]
山谷稲荷　浅草[illegible]入[illegible]今[illegible]
又三谷[illegible]
[illegible]
寺門の地　浅草寺門　板倉[illegible]
[illegible]
[illegible]

遊廓別　浅草馬道の大長屋とかゝるあり　庭の泉水もし首尾
よくなりたるよりなるものゝ芸者の家に居る者日々しとなり
浅草所　田原町の辺なる者を是と称す　廻り髪屋　芸者屋
浅草胡粉　口しるして勧ず
並倫五郎師　下谷仏ノ谷にあり　今は世に多く是と称す
九山師後　浅草也言願寺前　著名の人なり　是と称す
浅草田町

隅田川諸白　浅草並びに山屋市三郎　是と唱へ　川岸四川の水とよく
是と通ずるなり
伽羅の油　駒形の中酒屋百仲
尾久煙草　荒川ゝ元の住なり

首尾仏　浅草の川舎の後方にあり
一日寺　金竜山浅草寺と号す　下谷の書にて浅草東門の
内　善光風禅宗　観音なり
浅草雲の英信寺　常倫師と号す　浄土宗　長屋
寛永年間草創　開山は三河仏　大慶那八郎平の子なり
三豊州神社　松平丹州の氏神　大慶那八郎平の子なり
黄雲の観谷寺　下谷　豊国風寄　当寺は浅草東昌寺に属す　開山は平賀
源大夫高平なり
慶安の頃なるべし
尾久八　浅草の分限なり　順庵孫四郎　又太田新左衛門とあり
並倫　江戸自慢の並倫屋とあり　野辺五郎右衛門の書
江戸名所会の内四貫文並倫　大岩弟とあり　北条氏
或人云　郡代なる人倫なり　下谷宿とあり
東光山浅草寺　長屋とあり　並倫のよう　大岩弟とあり　東叡山
尾久中の坊　開山は天海大僧正　寛永二世は御法永なり　本堂は御山ハ

皇子[illegible]
石[illegible]
尚[illegible]
金光山大[illegible]寺
一説天[illegible]雄初尚[illegible]長三年　[illegible]
寺[illegible]
東都清[illegible]郷[illegible]清寺改有鐘樓懸[illegible]鐘焉[illegible]子保丙戌四月廿日[illegible]
宋鐘幸無恙云住坊僧某拾[illegible]官建佛堂已成有[illegible]匠真者前
歷遊海内諸州而皆藏経於其公若蓋巨刹及歸恨[illegible]清寺鐘樓未
復欲為募檀家初真公之末為僧也嘗庸保於山下里賈人家於
是主家以真為忠因為出數十緡以應其募遂起屋如故時元
文己未之夏也真主家號伊勢屋其名曰淨弘住持上人釋白詮
欲刻其功於石因予友人以乞予文紙不敢拒記其大略且為之
銘曰洪鐘必有樓懸之大功必有文傳之鐘字樓字聲其[illegible]

信陽大宰純摂[illegible]并書

[illegible]碑[illegible]堂[illegible]
[illegible]
[illegible]

尚直宇い弟四大夫殿ハ文母寺の寺内にこれ
ちつしまる寺内二ツとも特殊所ゆ作りなり

飯綱大權現　　別当ハ修験　　此宮惟宗

奉祭ス伝ふる石碑ハ朝倉氏ハ弟新三郎義元の
ものなりと称ふるなり今ハ社殿ハ無大光院大門堂ハ
此宮ものと称ふ宮尚山ハ寺の内にあり

尚宇偏墓　俗草本願寺の願竜寺なり道元と云医師の
墓なり茅葺なり四方廣又後ハ本宮廣しとり
吹葺ハ今日廣と名ハりなり元伯宇直の門七ツ目の一ツ

東野先生墓

先生名鴻図字ハ東壁に右ハ梅ハ安房美濃守の姓なり本姓ハ
本貫の草薙なり（伝ハ安倍と称し一説ハ黒田氏なり）　天和癸亥正月
廿八日所刑本貫郡ハ上野国なり　初ハ大学の教ハ大学の文の業と称し典籍と同
学ハ伊藤氏なり初十四五年の時ハ弱冠なり孤独なる逆境なり
江戸ハ多ハ業と俱深なり　寛永中　雪と号して中保

ハ伊藤氏なり儒業音律ハ
宮中ハ称し医と諸一時医官白金と称ハ京師已来四月
十三日ハ死ス寿六十　陳列有ハ
経補ゆ蔵　天保字　　山宇藤寺ハ
汁古法の神事ハ多ハ
寺時内事ハ人ハ
て信仰ハ何ハ
とのハ
感ハ後ハ
果山堂　如法山ハ
行家大師の作ハ
題ハ宇事ハ下向の
宇ハ
宇ハ
ハ
ハ

[illegible]一時二艘の弓像と彫刻一つの一艘八仟寸余の
本尊と一つ艘八讃州琴弾山より
義動法師道中護摩のつわりて尚寺開
願開山瑞泉寺　新島掛くより浄土宗
本尊阿弥陀如来八道賞大師の作なり尚寺より西の
方ゆ[illegible]ことあり浄長三人ゆ[illegible]
島掛山賞力寺　日本より尚寺八天慶の頃の起立なりと
昔八元島掛のゆくよりしと正保年間[illegible]
移動大官法師大師作
福寿山浄長寺　千手観音新宮より浄瑠
社田村[illegible]草創の年歴不詳なる
り尚寺なる[illegible]十三歳の河影と書す
浄土宗初祖八天文と浄瑠
山号福寿　三[illegible]

八幡宮　浦草新屋浦より
福井所　浦草の門の小道[illegible]
須山地より新宮[illegible]
小[illegible]
大八幡宮　河内[illegible]
[illegible]
渡唐天神　日新[illegible]
大雄山本蔵寺　日本より日蓮宗[illegible]
尚寺[illegible]
黒船所　昔黒船のとき[illegible]
御殿の岸の渡　[illegible]
[illegible]
南部黒水八首　春凡相逆吹　西山武陵花　地蔵義美華渡
[illegible]
[illegible]
[illegible]

砂利敷地　まして辺土なるゆえ初信としての昔物利と成り居る訳自然
よりの如くこれなりてかくしかるこれなる今は明らかなる今は地と共に
と云まるハ仏国の言葉なれ
馬場　観音の夢の通りなるかわりて今し蛇胴しとして
蛇塚　日本田の中よりかわりて一株の木わりて海岸みて蛇
五重塔原宗三郎　文陳寺と号す新寺なるかわり海岸みて蛇
知恩院　浄土宗　作り　宋の僧
運社　四条言上人　霊門和尚道元の弟子　寛永十九年なり
十日市家
四条東側大師堂　自影造りなりしと大師像戸三寸く
彫りなり一寸原なりと有りて尚寺なるあるところ

大相模不動尊　信濃郡大相模なるより大寺と号す新義の真
言宗なり山号三宝院寺なる石と称せる寺中なる信なり
本尊なる不動明王ハ長弁作郡の彫像なりて相州大山と同本なる霊
験あらたなり
重要大仏君　山号高野の序過尚寺なるの信持宗なり
なるの事なと号なりの天下巻の事の山術猫と名号なる天正十九年
手印上り寺なると称なりの又大なるの号とかしりなる慶長七年
下界の小なるの山猫陣の頃なる尚寺なる一流なる国なる山陣
山主頼なりて白朝なりなる一張石朝なるなる山なるなる国なる山郎利
の日宿なるの重上奇異なるの山なるなる山なるなる
なる前なりなる迄なるなる
戸長水門山主号ハ山号院屋元なるなる山なる近なる八百心
墓なる日戸瑞泉寺　慶長七年開なる山なるなる

天王社の西南　出羽九郡三郡五郡のうち郡司たりしと云
谷部河内守福島の祖　河内中の口より国司いりしとて別当
八幡宮社と号
[illegible]　河内中の口の別当八幡新宮天台宗上野寺
[illegible]の中より国社なりしと云
白石を福島の祖　八郎
第六天堂　本地弥陀　天戸金剛天戸[illegible]と云
[illegible]
東光山長寿院四福寺　海会四寺の中なり[illegible]に属す
寺領百石[illegible]八幡宮社領[illegible]
[illegible]
[illegible]

極楽ハ親鸞聖人ノ開基ニ成ル事ハ一宗ノ人ノ能ク知ル所ナリ
其ノ後ハ蓮如上人ノ再興ニ成ル事ハ
社寺考証ニ見ル　天正ノ頃ハ尚寺号庵号ノ
一時ニ多キニ至リ五山ニ列シテ庵号ノ
ミ多キ人ト雖モ極楽ノ寺号ハ
ヒトリ極楽ノ寺ノミ
ヒトリ極楽ノ寺ノミ
ヒトリ極楽ノ寺ノミ

及び村 神宮寺と同じく寺と及びて云う
曽村 大宮迫四ヶ所 弁天宮あり 薬師堂
但し薬師の堂なり 長三尺八寸 世俗若ヶ堂
なり 同じく郡に付き云うなり

遍照寺 自然院 既光院 真福寺 高野院
陳同社と云う 雷電宮 是も雷電と云う
田谷領十九ヶ村 指宿領三十四ヶ村 小室領八ヶ村
浄金寺 浄願寺 西光院 三ヶ所 大雷院 ヶ所
天神宮 ヶ所 多門寺 ヶ所 石戸宮 天正八年石戸五千石
遍照院勝願寺 寺院三寺 鳴軍寺 浄宝寺 八幡宮 開山良忠上人
、数多菩提寺

水川社 大谷村 社
正覚禅師良忠居住の所 笹田村駅中今の法尾堂と云う
薬九郎堂 塚田村 成重長房の代 塚田山放光寺 成重の子孫
村の鳴軍寺と云う 西十八丁 長延村

笹田八幡 別当宮 安楽寺
所在 堂 仏堂 草創 年代と云うなり
信濃国 新田郡 行と云う 西堂田 此堂と云う 或云 陽新宮八幡宮
と称すと云う

笹田城址 長年間 笹堂 石城 と云う
北十二丁と云う
天正中 平将門 下総 村 国 大 大 四郎 将平二万
鈴鹿 と云 笹田 城 押 新 と云 天慶二年 将門八
乃鈴鹿 と門 平 城 押 新 平 時 軍 なれ 大 将 善 行 貞 伝 上
所 村 と云 川 孫 迫 村
或延長中 城 仕 笹田 城 仕 八 城 と 又 沙 海 天 皇 の 左 右 鄙 の
陸 大 仕 の 田 村 の 臣
又 自 将 門 逆 賊 と 事 を 作 の 時 四 百 城 笹 と 称 け て 軍 功 を 成 す 其
忠 る 臣 て 勅 免 あ り 仕 八 位 従 五 上 に 云 う 当 時 の 将 る 仕 す 天 慶
五 年 五 月 廿 五 年 五 十 と 申 し て 及 す

[illegible]
[illegible]
[illegible]

三室村神明宮　神主　三輪明神　三室村　十石

[illegible]　元伝こ[illegible]祖[illegible]入

[illegible]川　草加新[illegible]の間[illegible]川[illegible]

谷[illegible]　今人[illegible]　[illegible]梅[illegible]　[illegible]　軍[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　草加の西[illegible]今小田[illegible]

鳩谷宿　日光[illegible]

[illegible]鳩谷[illegible]

[illegible]八幡[illegible]

宮[illegible]　[illegible]村[illegible]　[illegible]　今[illegible]

天[illegible]保[illegible]　[illegible]井[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

天[illegible]

長[illegible]　長[illegible]一[illegible]

[illegible]井　[illegible]

[illegible]

[illegible]

天正十年壬辰朝鮮征伐の為に肥前名護屋に
在陣の時　甲斐国武田家滅亡して小笠原
秀政の信濃国を領し給ふ時甲斐国を領
自国に帰と云へども雪深の故なりとて
信濃に残り　梅若軍記の作者信直筆

梅若縁起　三巻　信濃国善光寺住僧
江戸忠太郎の曾祖の遠江道仲一宇の堂を建立す
浮て東海より再来の歌を詠ずる所の信濃国の名所
信濃の国風土記に記して今に至て国内国宝
者道仲の遺作なりと寛永中前橋の花ちるよりあとを
移せし所の信濃国四郡は武田氏滅亡の時
如し　寛永四年甲辰七月廿七日
仲の中より新天地初建立するよりはるかに
字新宮の三字石碑
信濃国善光寺　之新の石碑
沒年の道行ろう　是中の人の碑なる　故に道行の
四郡大作つ　入寺と云ふ　信濃の国なり

子孫外戸閉に手閉は三人
中ノ戸左衛門閉　子孫外戸閉
惟閉は正閉　天正元年この後ハ花田氏と信濃の子孫と云ふ
石碑と信玄公天寿

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫
和書
類
號
冊
函
架

国立公文書館
National Archives of Japan